

事業拡大支援コースNo. 1

事業名 八戸みなとエリアにぎわい再現調査事業「みなと博ランカイ」

団体名

特定非営利活動法人 ACTY

活動報告の概要

「みなとまち八戸」としての顔を広くアピールするため、自分たちの地域の資源、財産を再認識しながら活性化させ、みんなで「みなとまち八戸」を体感しようとの思いがありました。そこで、「みなとまち八戸」を象徴するエリアである陸奥湊駅周辺の方々の気運を高める起爆剤として、協働のまちづくりを具現化した八戸みなとエリアにぎわい再現調査事業「みなと博ランカイ」を開催しました。

この事業の目的として、①観光（＝地域）資源を活かした総合的なまちづくり、②魚菜市场と地元商店街の連携した地域の活性化、③ホスピタリティーの醸成・観光ルートの開拓・アクセスの整備、④行政と市民と一体となった協働のまちづくりの4点を掲げて、地域の方々・商店の方々と話し合い、参画していただきました。

地域・市場・商店街との個別の話し合い・アンケートの実施をしながら、陸奥湊の売り呼びかけ、強調しながらイメージについて話し合っていました。そして課題である駐車場不足を解消するために、パーク・アンド・ライド（シャトルバス）の実施をするなど、エコロジカルなまちの具現化を行いました。また、商店街の空きスペースを活用し、休憩所・飲食場所・情報発信コーナーを設置するなど憩える町並みを表現しました。

また、国土交通省港湾事務所には船での遊覧、海上保安部には巡視艇の見学などで協力いただき、港のあるまちを実体験することができました。

協働のまちづくりとして、自らができること・得意分野を役割分担しながら、仮設ながら1つの町をつくることができました。今回は、小学生の子どもたちから大学生、また一般の社会人までがボランティアで参加し、準備期間からかかわることにより、自分たちのまちづくりを考えるきっかけづくりとなることにつながりました。このように自分たちのまちの財産に気づくことが、地域活性化の第一歩であり、今後大きく期待できると思います。

（活動の様子）

